

一般社団法人 岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会

発行人/会長 坂本 洋  
編集人/政策委員会

〒020-0024 盛岡市菜園一丁目3番6号農林会館6階

☎(019)654-1434

Fax(019)654-1437

ホームページ <https://iwasiyou.com/>

Eメール [iwasiyou@hyper.ocn.ne.jp](mailto:iwasiyou@hyper.ocn.ne.jp)

I W A S H I Y O U R E N

発行/令和3年8月3日



シンボル・マーク

子と親・幼稚園が  
ともに手をとりあっ  
て未来への飛躍を願  
うもので、親と幼稚  
園が子どもを育む姿  
を岩手の「い」に象徴  
している。

# 広報岩私幼連

VOL

115

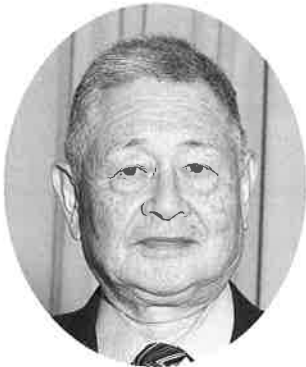
(題字は工藤巖元岩手県知事)



『青空へ向かって よーいドン！』

今日は何して遊ぼうか？』

# 本来の幼児教育機能を発揮するとき



一般社団法人 岩手県私立幼稚園・  
認定こども園連合会  
会長 坂本 洋

文部科学省は、本年度早々に「幼児教育スタートプラン」の策定を発表しました。内容は小学校就学前の全ての5歳児に対し、ことばの力、情報を活用する力、探求心といった生活・学習基盤を保障する教育プログラムの開発推進です。5歳児に限り全国一律に教育・保育指導内容の義務化が進められるようです。

幼稚園は、子どもが初めて出会う学校として小学校就学前の満3歳以上の子どもを対象とする人格形成の基礎を培う教育施設として、わが国では140年の歴史的背景を持っています。その学びの基礎は、「環境を通して、子どもの主体的な遊び・アクティブラーニングを中心に、同年齢学級のお友達や自然環境事象との関わり、お友達や教師との対話活動を通して深い学びとして、人間性、人格形成の基礎が培われること」を目的としております。

## ○これまでの幼児教育の振興経過

さてこのところ、幼児教育・保育施設にとり画期的な改革が進行中です。上記の情報もその一つですが、今後どう変貌していくのでしょうか。近時の端緒は子ども・子育て支援法の成立で幼

保一体化の確立推進が挙げられます。それと同様に平成29年告示・30年度から実施の幼稚園教育要領の改正で、Society5.0時代を生きる必要な資質・能力を三つの柱立てとして幼児期に育成すべきものを整理し、それを以後の小中高に連動させる内容も画期的。しかもこの度の改訂では、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領との同時期改正の整合性に及び、福祉行政と教育行政の指導内容精査が行われ実施されております。

そのような中で、幼児教育の保護者負担額無償化の実施、さらには専門性の質向上のため優秀な保育者人材確保の処遇改善施策、関連するキャリアパス研修の義務付け。また小学校義務教育就学への保幼小接続強化のスタートカリキュラムの実施、対応する幼稚園ではアプローチカリキュラムの構築とその進展対応は目白押しの賑わいで

## ○人格形成の基礎を培う幼児教育とは

これまで人格形成の基礎を培う教育キーワードは、環境を通して・子どもの主体的遊び・対話活動・深い学びが挙げられます。環境を通して、子ども達が自由に遊び、自然観察や触れ合いを通して子ども自身が遊びとして試行錯誤が許され関わる自然環境(園庭)が必要です。その環境で学びとして獲得されるものが人格形成の基礎となると私どもは理解しております。現在上記は、教育要領として5領域に示され、まずは健康、人間関係、環境、言葉、表現の領域ごとに発達年齢に応じた内容とねらいが指導計画として掲げられております。更にはその育ちの具体的な姿として、幼稚園の終わりまでに育てほしい10の姿が示されております。

ここで言われる人格形成の基礎、学びに向かう力の大切な要素として、主

に非認知能力につき挙げさせていただきませんが、他人に対する思いやり、優しさ、協調性、更には粘り強く最後までやり通す力、意欲、忍耐力、自制心、また自分は周りから必要とされ、大切な存在だと思える自尊感情、自己肯定感、更には計画性、創造力、表現力等の数量的に目に見えにくい能力。それに対して知識理解力や技能力、知能や学力偏差値等比較的数値に表される能力・認知能力に対するものです。

もとより人格形成や人間性の基礎は、認知能力・非認知能力の総合的なもので人々の発達年齢の成長と共に相互に育まれるものですが、あえて分離して幼児教育の重要性として強調したいと思います。

## ○今後の幼児教育の行方は

現状を預かる私どもは、今後の幼児教育のあり方を再検討することになりそうと注視が必要です。スタートプランの趣旨概略として、福祉行政と教育行政のはざまにある保育所・幼稚園・認定こども園の小学校就学前の5歳児への保育指導内容の義務化は、これまでの幼稚園教育要領を超えるものと思われ、特に情報を活用する力の育成はSociety5.0時代、AI時代への対応として、学校教育でのICT化のGIGAスクール構想等の影響が推測されます。我々としては、現状の改革推進の中で、今こそ、次代に必要な三つの柱立ての資質・能力を環境を通した主体的遊びの中で、学びとして身に付ける10の姿を、小学校接続として育成強化することを強く望むものです。

## ◎岩手県ふるさと振興部学事振興課の紹介

～本県の私立幼稚園教育の  
良好な環境づくりに向けて～



岩手県ふるさと振興部学事振興課  
総括課長 米内 靖士

皆様におかれましては、日頃より本県の私立幼稚園教育の振興に御尽力いただき、また、新型コロナウイルス感染症対策に取り組まれていることに感謝申し上げます。

さて、甚大な被害をもたらした東日本大震災津波の発災から10年が経過しました。

県では、子供たちの心のサポートを行う職員の派遣などの相談・支援や、いわての学び希望基金を活用した幼児の教育環境の確保により、引き続き、復興の先を

見据えたふるさと振興に取り組んでまいります。

また、令和元年10月から実施されている「幼児教育・保育の無償化」を円滑に進めるとともに、「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げた「私学教育の充実」に向け、各園の創意工夫を生かした特色ある教育活動への支援を通じて、私立幼稚園教育の良好な環境づくりに取り組んで参ります。

子どもたちが健やかに成長されるよう、安心・安全な園の環境づくりのため、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ◎保健福祉部子ども子育て支援室の紹介

～認定こども園を取り巻く動向について～



岩手県保健福祉部子ども子育て支援室  
室長 中里 裕美

皆様におかれましては、日頃から本県の児童福祉行政及び子ども・子育て支援施策の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、きめ細かな感染対策の下、教育・保育活動を継続いただいていることに対し、重ねて御礼申し上げます。

さて、少子化の進行や就業形態の変化等、子どもや家庭を取り巻く環境が変化中、国においては、子ども・子育て会議がまとめた「子ども・子育て支援新制度施行後5年の見直しに係る対応方針」を踏まえ、保育教諭等の処遇改善や教育・保育の質の向上に向けた取組が進められております。

県においても「いわて子どもプラン（2020～2024）」等に基づき、子ども・子育て支援施策を総合的・計画的に推進していくこととしています。

当室では、「社会全体で県民の結婚、

## 令和3年度学事振興課事務分担表(私学振興担当)

※幼稚園関係のみ抜粋

私学振興担当		担 当 者
1 私学振興の総括に関する事 2 私学関係団体に係る事（諮問・陳情含む） 3 議会に関する事（私学振興担当所管分に限る。） 4 学校事故報告に関する事 5 その他特命事項に関する事		主幹兼私学振興担当課長 田代 亮
1 私学振興担当事務の総括に関する事 2 私立学校の指導に関する事 3 県民からの提言に関する事		主任主査 戸塚 教仁
1 いわて県民計画、復興計画、国土強靱化地域計画及び岩手県教育振興計画に関する事 2 幼稚園設置法人及び私立幼稚園に関する事 3 私立学校運営費補助（教育改革推進特別経費、幼児特色）に関する事 4 子ども・子育て支援新制度への移行に関する事 5 災害復旧費国庫補助・県補助に関する事 6 子育てのための施設等利用給付負担金に関する事		主 任 谷地 琢磨
1 私立学校運営費補助（一般補助分）に関する事 2 私立学校関係予算及び決算に関する事 3 私立学校耐震化支援事業費補助に関する事 4 私立学校施設整備費補助金（台帳・財産処分除く）に関する事		主 任 佐々木貴規
1 私立学校審議会に関する事 2 学校教育法施行細則及び私立学校法施行細則に関する事 3 私立学校法施行細則関係の届出に関する事（幼稚園、小・中学校、高校、専修学校） 4 私立学校施設整備費補助金（台帳・財産処分限る）に関する事 5 災害状況の報告に関する事		主任行政専門員 保原 良和
1 私立学校被災児童生徒等就学支援事業に関する事 2 学校法人及び私立学校に係る調査、統計及び報告に関する事 3 緊急スクールカウンセラー等活用事業費に関する事 4 学校法人及び私立学校に対する諸通知に関する事		主 事 内藤 皓平
1 私立学校運営費補助（私立幼稚園特別支援教育費補助）に関する事 2 助成対象法人の事務検査に関する事 3 私立学校振興費等補助金関係説明会に関する事		主 事 柳 はなの
1 補助金の審査補助に関する事 2 私立学校式典等へのメッセージの送付に関する事		会計年度任用職員 （就学支援専門員） 藤原 浩子
1 諸台帳の整備及び書類の整理に関する事 2 学割に関する事 3 学校法人及び私立学校に対する諸通知の事務補助に関する事		会計年度任用職員 （事務補助） 宮野 麻子

学事企画担当		学事企画担当課長 細川 徹
1 私学関係栄典事務及び表彰に関する事。		主 任 坂本 悠

## 子ども子育て支援室事務分担表(子育て支援担当)

認定こども園に係るもの(令和3年4月1日～)

事 務 分 担		担 当 者
保育所等の環境整備に関する事		子育て支援担当課長 加藤 勝洋
子育て支援担当の総括に関する事 子育て支援担当の関係条例・規則等に関する事 子ども・子育て支援新制度の総括に関する事 子ども・子育て支援事業費補助計画に関する事		主任主査 吉田 光
認定こども園の認可、認定に関する事 子ども子育て会議に関する事 認定こども園の指導監査に関する事 施設給付費・地域型保育給付費・委託費に関する事 施設の災害復旧に関する事 保育士確保対策に関する事 保育士のキャリアアップ研修に関する事 児童福祉研修事業（新任保育士、遊在保育士研修）に関する事 保育士養成施設に関する事 保育所入所待機児童・保育所アンケート調査に関する事		主 査 松尾 友子
認定こども園の施設整備に関する事 子育てのための施設等利用給付交付金に関する事 産休等代替職員等設置費補助金に関する事		主 事 後藤 圭吾
施設子ども・子育て支援事業に関する事 病児保育施設の施設整備に関する事 保育士及び保育教諭に関する事		主 事 土井尻 啓輔

妊娠、出産及び子育てを支え、誰もが子どもを健やかに育みやすいと実感できる「いわて」の実現を目指し、認定こども園の施設整備や職場環境の改善の支援等に取り組んでまいりますので、引き続き、御理解、御協力をお願い申し上げます。

## 令和3年度(第28回)全日本私立幼稚園連合会 東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会(宮城大会)

昨年延期されていた東北地区私立幼稚園設置者園長研修会が仙台ガーデンパレスで行われた。今回は、新型コロナウイルス感染の状況が収束していない条件下での開催であり、会場への直接参加とリモートでの参加の二通りの参加形態で開催された。会場へのコロナ対策は、万全を期しており、安全安心な開催条件を満たしていると感じられた。開会行事の後、記念講演としてチベット出身の音楽家バイマーヤンジン氏の「大切な家族の絆」と題して約1時間の講演が行われた。氏は、「テレビ寺子屋」のレギュラー講師でもあり、幅広くご活躍されておられ、教育関係、企業、学校等からも高い評価を得ている人気講師であります。

講演では、ご本人の現在に至るまでの経緯と現在取り組んでおられる活動についてのお話を頂戴した。氏の育った故郷は、チベットでも標高が4000メートル以上もある電気もガスもないような貧しく、学校などない地域で字が読めないのが当たり前の環境であったため、字が読める人がいなく悪徳業者にだまされる人がいたり、なかなか生活改善が進まない時期が続いていたといいます。高地のため木が育たないため暖をとるための燃料は、牛の糞を乾かしたものであるため日課の一つは牛の糞集めが欠かせない仕事の一つであったようです。そんな状況下で氏に学校に通うチャンスがあり、村人の期待を一身に背負い学校に通うことになりました。唯一字が読めるようになった氏は、村に帰省した折には、村人から手紙など様々な文書を読んでもくれるように頼まれるようになりました。成績が優秀だった氏は、その後高校を卒業し、思ってもみなかった中国国立四川省音楽大学音楽学部に入學する運びとなりました。そこで待ち受けていたことは、期待とは裏腹に激しい「いじめ」でありました。「チベット人は、汚い、野蛮」等激しいいじめが4年にわたり続いたそうです。氏は、そのいじめに耐えかねて大学をやめて故郷に帰ろうかと悩む日々が続きました。しかし、氏は大学をやめることを思いとどまったのです。それは、ここまで期待をして大学まで進学させてくれた故郷の人たちの思いを考えるととてもやめるような事は出来なかったそうです。氏は、故郷の人たちのために歯を食いしばって卒業を迎えるのでした。卒業の発表会で出会った人が初めて会った外国人であり、日



本人のご主人であったそうです。その後日本で故郷チベットののためにコンビニの時給800円の仕事から出発し、その後歌の講演活動を続け、今では9つの小学校と一つの中学校の開校するまでになっています。さらには、現地の大学4校に奨学金を設立し、後進の育成に現在も取り組んでいるところです。最後にチベットの歌「太陽と月」と日本の「ふるさと」を歌い講演を締めくくりました。氏は、講演の中で「自分の大切な誰かのために」という気持ちがどんな困難も乗り越えて前に進む勇気を与えてくれるのですと述べられたことがとても印象に残り、その歌声は、空気がバイブレートとするような素晴らしいものでした。

記念講演に引き続き「コロナ禍における対応と混合の展望」をテーマにしたパネルディスカッションが行われた。坂本洋県連会長のコーディネーターの元、2名のパネラーの先生からコロナ禍における自園の状況についての報告がなされた。パネラーには、幼保連携型認定こども園泉の杜幼稚園園長菊池正隆先生と認定こども園さくら幼稚園園長片岡大助先生からそれぞれのコロナ禍における感染時における実際の取り組みについてのご苦労と対応、さらには反省点等について発表があり、時宜を得たとても参考になる発表であった。両者に言えることは、迅速な情報開示を如何に行うかがとても大切であるとのこと意見を拝聴することが出来たことは誠に有意義であった。

## コロナ感染防止に万全を期し事業推進

総務委員長 高橋 繁雄

県連事業推進に多大な影響を及ぼす新型コロナウイルス感染症は予防ワクチン接種により収束に向かうものと期待していたところでしたが、ここにきてワクチン接種の遅れと従来のコロナウイルスから感染力が強い変異コロナウイルスに変化し感染の拡大傾向が見られることから今後の推移に予断を許さない状況下にあります。

従って今年度も引き続きコロナとの共存実施となることから学校運営ガイドラインや新しい生活様式を踏まえ感染防止に万全を期することが基本となります。

昨年度は全ての会議研修会等を対面式にて開催してきたところですが、社会インフラとしてのICT環境が充実してきたことと三密回避の徹底のためオンラインによるリモート形式の事業実施に向けての環境整備に取り組んでいきます。

処遇改善Ⅱの給付にかかる要件であるキャリアアップ研修に関し今年度末までの履修完了が課せられていることから各常置委員会と連携し昨年度と同程度の研修の機会を提供していきたい。

盛岡大学との協力事業である幼稚園教諭免許上進講習を令和2年度から開催する案が示されましたが、昨年度は結果的にコロナ禍のため延期となったことから可能であれば本年度開催出来るよう要望してまいります。

## 情報ツールを使ったわかりやすさを目指して

政策委員長 今西 界雄

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の気配を見せていない現況であり、事業のあり方を根本的に見直す機会となりました。研修や会議の持ち方はZOOM等のツールを利用した場面が多くなり、コロナの感染前には、考えもしてみなかった開催方法が行われました。恐らく今後も対面とインターネットを利用した事業の開催が考えられます。そのためには情報システムの環境を整えることが早急の課題であると考えます。ホームページの充実を始め、幼稚園ナジ等の活用推進が重要な要素となってくるでしょう。同時に紙面による情報伝達も併せて進めていかなければなりません。政策委員会では、例年通り「広報岩私幼連」「岩私幼ジャーナル」をはじめ、PTA連合会では、今年度中部地区花巻市で開催予定の岩手県振興大会や広報誌を通じて私学の重要性を効果的に発信していかなければならないと考えます。政策的にも大きな動きがある事が考えられますので、迅速に情報を発信していく体制作りに取り組んでいこうと考えており、また、わかりやすさも情報を発信する上での重要な要素であると考えておりますので努力していく所存です。

## 今年も頑張ります！

教育研究委員長 坂水 かよ

収束の兆しの見えないコロナ禍の中で令和3年度がスタートし、相変わらず緊張の中で日々の保育が展開された1学期、何よりも子ども達の笑顔と成長に報われる思いは各園の皆様方共通するところではないでしょうか。幼児教育に携わり、日々を共に生活する私たちの願いはどんな時も「子どもたちの幸せ」です。そして、私たち教育研究委員会の役割は変わることなく、保育者の専門性を磨いていくために、常に学びあい高めていくための研修を積み重ねていくことにあります。今年度も、全日研究機構の研修課題である「新しい時代を伸びやかに生きる」ために、子ども達自ら考え、目標をもって主体的に行動していく力を確かに育てていくことを目指して研修会の企画運営に頑張っていきます。

既に5月末～7月に新任教諭研修会4回を無事終え、7月末の第1回教員研修会のご案内をしているところです。従来通りの研修会に加え、リモートによる研修会等も視野に入れ、会員の皆様のご協力をいただきながら、共に一歩一歩前進していきたいと願っています。

## 令和3年度経営研究委員会事業方針

経営研究委員長 佐々木 栄光

幼児教育・保育を取り巻く環境は、社会情勢の影響や制度変革に伴って大きく変化しています。社会的な公衆衛生危機ともいえる新型コロナウイルス感染症の蔓延は、今後のワクチン接種の普及による収束への期待が持たれつつも、現状は未だその兆しが見えない状況下であって、引き続き感染症対策に細心の注意を払った園運営が求められます。また、制度面においては、コロナ禍の影響による処遇改善Ⅱにかかる研修必須化時期の段階的延長、幼小接続問題等に対応する新たな5歳児教育プログラムの導入検討、教員免許更新制の抜本的見直し、政府の経済財政運営と改革の基本方針2021に盛り込まれた、包括的な子ども問題対策への縦割りを排した行政組織の創設(子ども庁を示唆か)等、現場の園運営には先行きの不透明感が今後増していくものと思われます。

今年度の事業計画、方針としては、県内のコロナ感染状況を見定めながら岩手県の示す感染症対策方針に十分配慮した上で、第1回の経営セミナーを8月に、第2回経営セミナーを令和4年1月に開催予定としており、内容はマネジメント分野研修を中心に、併せて時節に応じた運営課題を取り上げながら、混迷する社会環境の中での経営判断に資するセミナーの開催を計画しております。

## 地区会だより

### 県北 「どんな時でも子どもは元気！」

二戸市では7月3日から幼児施設関係者へのコロナウイルス予防ワクチン接種が始まり、施設の職員は全員2回の接種が終わりました。感染については報道ではいろいろなことが言われておりますが、岩手県の実情を見ても接種を先行することが蔓延予防を防ぐ大きな武器になると思います。

昨年から波を変えて襲ってくるコロナ禍のため地区活動はストップしている状態ですがその間でも園児たちは大きく育ち卒園していきます。各園では園内行事を中心にそれぞれが工夫をして今までの季節の行事をバージョンアップしながら取り組んでいます。

コロナの影響は各方面に多大な影響を与えており子どもたちの行動範囲は極端に狭まり出生数にも大きな影響を与えています。本年度は市の子育てに関する予算増額等をお願いする計画です。

(まつのまるこども園 園長 國分一彦)



早くコロナがいなくなりますように お星さまにお願いしました！

### 盛岡 「社会に開かれた質の高い幼児教育を」



お茶を飲～みにきてください♪ はい、こんにちは♪

昨年から続くコロナ禍、GWから岩手でも感染者が増加傾向。感染防止対策をしての研修会も、密集は避けられず、盛岡地区は1学期休会することになりました。

今年は、2年継続のまとめの年で、先生方の研究への熱い気持ちも中断された感がありますが、所属する班のテーマを意識して日々保育にあたっていることと思います。

今後については、8月の盛岡地区例会で検討したいと思います。回数は少なくても、質の高い保育を目指している先生方の主体的・対話的・深い学びへと、研究のまとめに期待するところです。

盛岡地区PTA連合会の活動も順調にスタート。11月の連絡協議会に向けて親として、どのようなことを学びたいか、今からテーマ、講師選びの準備を始めているようです。

(認定こども園都南幼稚園 園長 植村生子)

### 中部 「『地区研修会・園内研修』を通し質の高い幼児教育を目指して」

花巻地区では、長年にわたり様々なテーマの研究を、3つの班に分かれ積み重ねてきました。昨年度より移行し、講師を招いてのキャリアアップ研修会を行うことで進めてきましたが、コロナ禍が続き延期となり、今年2月よりスタートすることができました。これまで「0、1、2歳児アレルギー」「保育記録と評価」「乳幼児の環境」と題して、ご講演を頂きました。研修後はそれぞれの園に持ち帰り、日々の保育を工夫するなど実践に繋げています。その他、北上地区主催の研修会にも参加させて頂いております。

また、本園では園内研修を2園合同(大谷・湯口大谷)で年間10回行っています。教育目標や子どもの10の姿を共通理解することは元より、職員が持つ得意な分野で保育技術を伝え合い、保育に取り入れるなど、保育の質の向上を目指しています。

(大谷幼稚園 副園長 松本弘子)



講演会の様子

## 県南 「充実した保育を目指して」



みんなの願いお空に届きますように!

コロナ禍の中スタートした令和3年度も、あっという間に1学期が終了しました。

県南地区奥州支部では、例年通り隔月で主幹部会を開き、各園の研修の報告や情報の交換を行なっています。昨年度はこれまで経験したことのない状況下での保育に悩み、解決策を皆で模索しながら会を進めてきました。しかし今年度は昨年度経験してきたことを礎に、各園とも環境に配慮しながら充実した保育を行なっていることが報告内容から伝わってきます。そして、形は変わっても私達の目指すものは変わらないということも話し合う中で確認できていると感じます。

まだこのような状況は続くと思いますが、各園の主幹同士が話し合える場があることに感謝し、今後もしっかりと前を向いて保育に取り組んでいきたいと思っています。

(認定こども園水沢こども園 副園長兼主幹保育教諭 鈴木良枝)

## 沿岸 「今だからこそ、季節の行事を大切に」

感染予防をしながら、中止にするのではなく「例年通り園行事を行える方法」を保護者と職員で模索するため、保護者との話し合いの代わりに、アンケートをお願いしています。夕涼み会は親子で楽しめる夏のメインイベント。園では昨年から昼の縁日と夜の花火に分け、縁日は園児のみで行っています。子どもたちは浴衣や甚平で登園し、給食は「屋台メニュー」。栄養士の人たちは盛り付けにも気を配り、「楽しそうな様子をせめて写真で届けたい。」と職員は気合を入れて子どもたちの笑顔を撮影します。その笑顔が「いつも通り」が大切な時間であることを私たちに教えてくれています。来年こそは親子の楽しい時間になることを願っています。

(おさなご幼稚園 園長 山崎美香)



「これは…!! 大好きな恐竜の卵?」たまごくじに興味津津の様子。このドキドキワクワクが、くじの醍醐味です。

### 岩私幼連の年間行事

#### ○政策委員会

事業名	期 日	開 催 地
第25回岩手県私立幼稚園・認定こども園振興大会	R 3.10.29 (金)	花巻市文化会館

#### ○教育研究委員会

事業名	期 日	開 催 地
第1回新任教諭研修会	R 3.5.29 (土)	盛岡市総合福祉センター
第2回新任教諭研修会	R 3.6.5 (土)	北上さくらホール
第3回新任教諭研修会	R 3.6.12 (土)	一関文化センター
第4回新任教諭研修会	R 3.6.19 (土)	盛岡市総合福祉センター
第1回教員研修会	R 3.7.30 (金)	盛岡市総合福祉センター
総合研修会・第2回教員研修会	R 4.1.11 (水) ~ 12 (水)	花巻市/ホテル千秋閣
第37回教員研修大会県南地区大会	R 4.3.24 (木)	一関市/ベリーノホテル一関

#### ○経営研究委員会

事業名	期 日	開 催 地
第1回経営セミナー	R 3.8.24 (水)	ホテルメトロポリタン盛岡
総合研修会・第2回経営セミナー	R 4.1.11 (水) ~ 12 (水)	花巻市/ホテル千秋閣

#### ○全日私幼連東北地区会

事業名	期 日	開 催 地
第28回東北地区設置者・園長研修会	R 3.6.25 (金)	宮城県仙台市
第35回東北地区教員研修会(秋田大会)	R 3.10.15 (金)~16 (土)	秋田県秋田市

#### ○(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

事業名	期 日	開 催 地
第12回幼児教育実践学会	令和3年8月20日 金	オンライン配信

#### ○岩手県教育委員会

事業名	期 日	開 催 地
岩手県幼稚園教育研究協議会	R 3.8.18 (水)	岩手県立生涯学習推進センター
岩手県教育研究発表会	R 3.2.9 (水)~10 (水)	岩手県立総合教育センターほか



## 令和3年度全日本私立幼稚園連合会定時総会報告

副会長 今西 界雄

7月9日令和3年度全日本私立幼稚園連合会定時総会がアルカディア市ヶ谷私学会館で行われた。昨年は、不正経理が発覚したこともあり、大幅に遅れて今年の3月30日開催という異例の事態となりましたが、令和3年度定時総会は、ほぼ例年通り開催されました。議題は、例年通りの事業報告・収支決算承認と事業計画案・収支予算案承認と監事選任の3件でありました。各委員会からは、例年通りの事業計画の説明が行われ全会一致で承認された。また、現在進行中である教育研究機構と全日本私立幼稚園連合会と全日本私立幼稚園PTA連合会における不正経理については、田中雅道会長より説明があり、現在刑事民事の両面からの調査が進行中であり、資料等が全て押収されていることもあり調査の結果を待たなければ具体的な報告は出来ない旨の説明がなされた。このたびの不正経理の要因となった一つに3団体が明確に分けられていないところにも大きな原因があり、現在では、それぞれの団体が明確に分かれている状況を作っていると説明がなされた。特定の人物が

3団体の経理を一手に行っていたという所にも大きな問題と原因があり、それぞれの団体が独立した形態を確立すべく取り組んでいる最中である。幼児教育研究機構に関しては既に公益の法人格を返還して一般の公益法人として再出発をし、5年後を目処に再度公益の法人格の取得に向けてコンプライアンスとガバナンスの強化をはかりながら取り組んでいく考えを話された。しかし、課題は山積みになっており、特に事業実施については、資金不足の状況にあり事業の中身の見直しや、特に補助金や協賛金の大幅な削減がなされる教育研究機構の事業推進のための資金調達の方法が今後の大きな課題となりそうである。会場からは、厳しい意見もあり執行部としては、謙虚に反省する部分は反省し改善に向けた取り組みを行うことを明言した。例年出席をして頂いている政治家や省庁の役人の方々の出席が、一切なかったことも例年にはない様子であった。白熱した議論もあり予定を1時間超過した総会となりました。

## 令和3年度新任教諭研修会報告

教育研究委員会副委員長 根内 純

今年度の新任教諭研修会が、5月29日から6月19日までの毎週土曜日に行われました。昨年度は予定よりも少ない3回の開催でしたが、今年度はしっかりと新型コロナウイルス感染症対策をして、予定通りの4回を開催することができました。

第1回研修は、5月29日に盛岡地区の盛岡市総合福祉センター4階講堂、参加人数40名で行われました。研修内容は、①幼児教育『幼児教育職場組織として求められる人材』講師：(一社)岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会会長坂本洋先生、②幼児教育『幼児教育の重要性について』～子どもと保育者が織りなす園生活～講師：(一社)岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会副会長 坂水かよ先生です。

第2回研修は、6月5日に中部地区の北上さくらホール小ホール、参加人数30名で行われました。研修内容は、①乳児保育『乳児保育の環境と関わり』講師：みどりの保育園園長高木宏子先生、②障がい児保育『障がい児保育の環境、発達の援助』講師：岩手県療育センター相談支援員 高橋愛美先生です。

第3回研修は、6月12日に県南地区の一関市文化センター

小ホール、参加人数28名で行われました。研修内容は、①幼児教育『指導計画、記録及び評価』講師：岩手県教育委員会事務局学校教育室指導主事 福岡喜久子先生、②食育・アレルギー対応『栄養に関する基礎』修紅短期大学食物栄養学科准教授 渡邊美紀子先生です。

第4回研修は、6月19日に第1回と同じく、盛岡市総合福祉センター4階講堂、参加人数57名で行われました。研修内容は、①乳児保育『乳児期のことばの発達』講師：幼保連携型認定こども園盛岡幼稚園園長 坂本信行先生、②食育・アレルギー対応『子どもの食育と保育者の役割』講師：岩手県立大学盛岡短期大学部生活科学科講師 浅沼美由希先生です。

どの研修もとても深い内容で、充実した学びをすることができました。今回はコロナ対策で参加人数を抑えるために入職1～2年目の新任保育者のみの研修としましたが、内容的にはベテランの保育者でも十分に学びがいのあるものでした。次年度はコロナが終息し、もっと多くの方々が参加出来る研修が行えるようにと願っています。

今回講師を引き受けてくださいました先生方、また、当日現地でご奉仕をしてくださいました方々、ありがとうございました。

### ●編集後記

新型コロナウイルス感染症、異常気象による様々な災害、東京オリンピック開催に関する混迷する情報等、心を痛める報道が連日続いています。しかし、そんな中でこの岩手で育った大リーガーの大谷翔平選手の活躍は、世界中の人たちをコロナ禍で沈みがちな気持ちを救ってくれたのではないのでしょうか。二刀流でしかも現在ホームランダービートップ、漫画やアニメでも描けない未知の活躍に世界中が興奮しています。しかし、大谷選手

の素晴らしさは、野球の活躍だけではなく、映像やニュースで流れるルックスと人柄のよさも世界が称賛する所以であろうと感じます。岩手で育ち、岩手で学んだ大谷選手を輩出したこの岩手を誇りに思います。これからもこの岩手から世界で活躍する豊かな人間性をもった子ども達がたくさん生まれ育っていくことが岩手県民の大きな幸せになるのではないのでしょうか。

(政策委員 蜂谷隆博)